

ネズハバチは雄の触覚が羽状でいくつかの枝に別れています。4月ごろ食樹であるネズ *Juniperus rigida* の周辺を飛び回っているのが見られます。

#### Siricidae キバチ科

ニホンキバチ *Urocerus japonicus* (SMITH)

津名郡五色町龍宝寺 1 ex. 1991. 7. 23

キバチ科はカミキリムシのように材に穿孔します。ニホンキバチはマツ、スギなどを食害します。キバチ科の中では普通種で、大型の蜂です。

#### Cephididae クキバチ科

バラクキバチ *Syrista similis* MOCSARY

洲本市成ヶ島 1 ex. 1991. 4. 28

クキバチ科は植物の伸び始めた新梢に穿孔してこれを枯らします。バラクキバチはバラ類の新芽を食害します。淡路島からはほかにクロバクキバチが知られています。

#### Trigonalidae カギバラバチ科

キスジセアカカギバラバチ *Poecilogonalos fasciata kibunensis* UCHIDA

津名郡五色町龍宝寺 1 ♀ 1991. 9. 4 / 1 ♀ 1992. 5. 19

カギバラバチ科の仲間は日本からは8種が記録されていますが、従来淡路島からは記録されていませんでした。カギバラバチ類は寄生蜂ですが、寄生の方法が少し変わっています。雌は卵を葉の縁に数千から万に近い数を産みつけます。その卵と一緒に葉を食べたハバチの幼虫の体の中で大きくなるのです。産卵に関しては野坂氏が<sup>1</sup>エソカギバラバチに関して詳しく記録されています。

カギバラバチはそんなに珍しい蜂ではありませんが、あまり大きな蜂ではないことと、木や草の葉の間を飛ぶので、目立たないと思いますが、時期と場所さえよければ採集は難しくないと思います。以上の科はそれぞれ小さな科でクキバチ科を除いて淡路島からは初めてと思われるのでここに発表します。

末筆ながら発表に際して種々御教示いただいた登日邦明氏に篤くお礼申し上げます。

### 参考文献

- [1] 野坂千津子 1976 「エソカギバラバチの産卵観察」 蜂友通信 (3)

(おおくさしんじ)

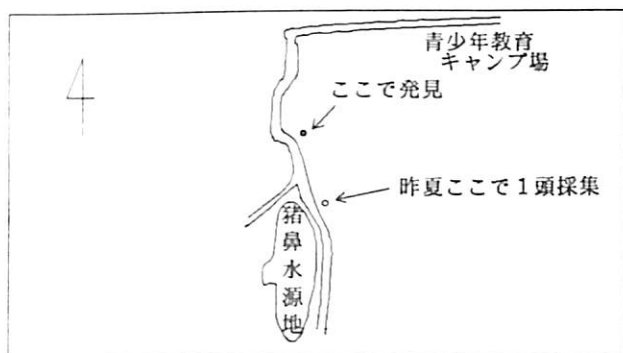
## 1993年夏の成果 交告尚史<sup>4</sup>

8月17日から同月21日まで淡路島で蝶の採集をした。主な成果を報告しておきたい。

1. イシガケチョウ 1頭発見 (採集には失敗)。

8月17日 p.m. 1:15ごろ 洲本市猪鼻

4: 〒225 横浜市緑区黒須田32-12 あざみ野405



2. ウスイロコノマチョウ 1頭採集（裏面の波状紋により夏型と判断した）。

8月19日 p.m. 0:30 ころ 洲本市上内灘~~一帯~~。

下内膳郵便局の所からしばらく先山を目指して登ると左手に左手に上内膳へ降りる道がある。その道を下って、山を脱け出たあたりの路傍に小さなササ原があり、そこで、ウスイロコノマチョウを採集した。後翅が少々損傷している。

3. クロコノマチョウ 1頭採集。

8月20日 a.m. 11:20 ころ 洲本市竹原

柏原山林道の入口（民家が見えなくなる所）は竹藪になっているが、そこでクロコノマチョウを1頭採集した。翅はかなり破損している。

（こうけつひさし）

## 一宮町でイカリモンガを採集 大草伸治<sup>3</sup>

イカリモンガ *Pterodecta felderi* は昼飛性のガ類で、各地で普通に見られるが、なぜか淡路島からの記録はなかった。筆者は1993年10月15日、一宮町尾崎枯木において林縁を飛行する本種を採集することができたのでここに報告しておきたい。



（おおくさしんじ）

## コシロシタバの採集記録 堀田 久<sup>5</sup>

コシロシタバ *Catocala actaea* の淡路島における記録例は少ないようである。筆者は昨年8月に、自宅のガレージの壁に静止していた本種を採集したので、記録しておきたい。

5: 〒656 洲本市安乎北谷630